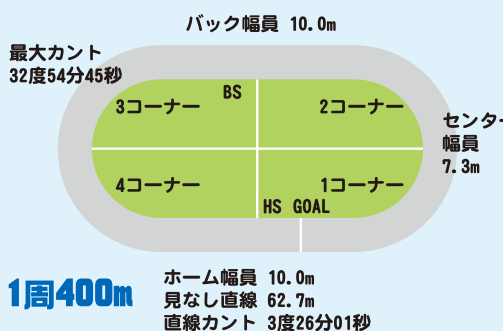


バンクの特徴



リニューアルオープンしたのは06年。当初は高速バンクであったがウォークトップを塗り替えてからはやや重いバンクとなり、上がりタイムは一般的なものとなった。見なし直線は全国4番目に長く基本的には追い込み選手に有利だが、自力選手でもうまくスピードに乗ってペース駆けに持ち込めば押し切り十分。冬場は風が強いが、春以降、風がおさまってくると戦法による有利不利はないバンクで出切ってしまうか、遅めの捲り追い込みが良く決まる。直線はイエローラインからやや外に伸びるコースがあつて決め脚ある追い込み型なら3、4番手からでも突き抜けチャンスありだ。



ダントツの注目度



深谷 知広 愛知・96期

鳴り物入りで競輪デビューすると、瞬く間にスターダムを駆け上がった。包囲網は厳しくなるばかりだが、それを跳ね返す脚力は規格外。展開関係なく相手をねじ伏せる力があり、スケールの大きさは一番。豪快な仕掛けで期待に応える。

夏男の本領発揮



佐藤 友和 若手・88期

後方に置かれる展開になっても豪快に飲み込む捲りは圧巻。ひとたび勢いに乗せてしまえば次元の違うスピードを披露する。例年は夏場に調子を上げていくタイプで、この時期に強さを発揮する。高速捲りを武器に優勝争いに加わる。

輪界のカリスマ



村上 義弘 京都・73期

近畿軍団の精神的支柱。気迫溢れる攻めは魂の走りと呼ばれる。昨年はグランプリを制して頂点を極め、今年はダービーで優勝。共に単騎戦のハズレを跳ね返し、気持ちの強さを見た。常に勝負権のある戦いに徹してファンの支持は絶大。

総合力は輪界No.1



武田 豊樹 茨城・88期

競輪界をリードする第一人者。年齢は40歳に近づいているが、その強さに衰えは感じられない。後手を踏まない立ち回りから繰り出す自力駆けは抜群の安定感。常に最高峰の舞台で結果を出し続けている。今回は大会連覇を狙っての登場。

真夏の夜を彩る豪華決戦 極限のスピードバトル!!



新田 祐大 福島・90期



長塚 智広 茨城・81期



岡田 征陽 東京・85期



浅井 康太 三重・90期

今年で第9回を迎えるサマーナイトフェスティバルはいわき平競輪場での開催。唯一ナイターで行われるビッグレースとして定着したこの大会。真夏の夜を熱くする激戦必至の2日間になることは間違いない。初日は自動番組の予選そこで勝利を挙げた選手のみが決勝へと勝ち上がるサバイバルバトル。

ル。いつもとは違う新鮮な対決も期待でき、1戦たりとも目が離せないシリーズ。今年後半戦を占う意味でも注目が集まる。気合が入る地元勢の中心となるのは成田和也、山崎芳仁のS班同期コンビ。まずは共に予選を勝ち上がるのが条件になるが、いままでも数々の修羅場を戦ってきた結東力を地元一番で見せたいところ。この2人にとって大きいのは新田祐大の成長。GI決勝で1番人気に推されるまでにパワーアップした機動力は勢いが止まらない。今シリーズも注目的になるのは確実に。更には岡田芳幸、佐藤慎太郎、佐々木雄一、鈴木謙太郎が地元勢との連係はケースバイケースになるが佐藤友和のスピード

は強烈。捲りの威力は更に磨きがかかっている。オールラウンダーの菊地圭尚も北日本には欠かせない存在。実力者がそろった関東勢の軸は武田豊樹。実績豊富な長塚智広との同県連係になればワンツー決着の期待が高まる。牛山貴広、芦澤大輔と茨城だけでも強力布陣だが、神山雄一郎、飯嶋則之までが栃茨ライン。S班の岡田征陽、平原康多、池田勇人の埼玉トリオも加わり有力者を挙げればぎりがないほど。自分の形に持ち込めば手がつけられない強さを見せるのは深谷知広。この唯一無二のパワーを味方につけられる浅井康太にもチャンスは十分。近畿のカリスマ村上義弘は川村晃司、藤本裕、脇本雄太、南修二と連係から優勝を狙う。

は強烈。捲りの威力は更に磨きがかかっている。オールラウンダーの菊地圭尚も北日本には欠かせない存在。実力者がそろった関東勢の軸は武田豊樹。実績豊富な長塚智広との同県連係になればワンツー決着の期待が高まる。牛山貴広、芦澤大輔と茨城だけでも強力布陣だが、神山雄一郎、飯嶋則之までが栃茨ライン。S班の岡田征陽、平原康多、池田勇人の埼玉トリオも加わり有力者を挙げればぎりがないほど。自分の形に持ち込めば手がつけられない強さを見せるのは深谷知広。この唯一無二のパワーを味方につけられる浅井康太にもチャンスは十分。近畿のカリスマ村上義弘は川村晃司、藤本裕、脇本雄太、南修二と連係から優勝を狙う。

一撃の破壊力!

現在の大きなギヤを巻き起したパイオニア。S級ではほとんどの選手が4倍超のギヤを使っているが、これを最初に取り入れてその威力を見せつけた。近頃は全盛時に見せた無敵の強さとはいかないまでも、一撃の破壊力は依然として健在。地元戦は3年前のオールスター競輪を制覇。今年も北日本連係の中心となるのは間違いない。地元優勝を決めて今年後半戦に勢いを付ける。



山崎 芳仁 福島・88期

究極の技術!

マーク捌き、決め脚共に最上位。輪界1の追い込み選手としてトップの座に君臨する。今年も川崎、函館の記念を制すると岸和田高松宮記念杯では自身3度目となるGIタイトルを手にした。決勝では抜群の仕上がりを見せていた新田祐大の番手を別線に止める仕事をこなし、最後はきつちりと直線差し交わす完璧なレースで栄冠を手にした。豊富な北日本の機動力を活かすマーク技術は一級品。地元バンクとなる今シリーズも存在感を示す。



成田 和也 福島・88期

第9回サマーナイトフェスティバル(GII) 出場予定選手															
班別	選手名	年齢	登録地	期別	競走得点	前成績	所等	班別	選手名	年齢	登録地	期別	競走得点	前成績	所等
S	山崎 芳仁	39	福島	88	109.00	前橋久留	23.4	S	成田 和也	39	福島	88	106.52	前橋久留	23.4
S	武田 豊樹	39	茨城	88	117.80	岸久留	15.6	S	新田 祐大	39	福島	90	117.80	岸久留	15.6
S	村上 義弘	40	京都	73	116.66	岸久留	15.6	S	長塚 智広	32	茨城	81	113.13	岸久留	15.6
S	深谷 知広	36	愛知	96	108.21	岸久留	15.6	S	岡田 征陽	38	東京	85	103.73	岸久留	15.6
S	佐藤 友和	34	若手	88	107.35	岸久留	15.6	S	浅井 康太	39	三重	90	103.25	岸久留	15.6
S	武田 豊樹	39	茨城	88	109.50	岸久留	15.6	S	山崎 芳仁	39	福島	88	106.00	岸久留	15.6
S	村上 義弘	40	京都	73	113.45	岸久留	15.6	S	武田 豊樹	39	茨城	88	111.29	岸久留	15.6
S	深谷 知広	36	愛知	96	109.50	岸久留	15.6	S	村上 義弘	40	京都	73	111.29	岸久留	15.6
S	佐藤 友和	34	若手	88	110.21	岸久留	15.6	S	深谷 知広	36	愛知	96	105.88	岸久留	15.6
S	武田 豊樹	39	茨城	88	110.77	岸久留	15.6	S	佐藤 友和	34	若手	88	103.96	岸久留	15.6
S	村上 義弘	40	京都	73	107.20	岸久留	15.6	S	武田 豊樹	39	茨城	88	106.60	岸久留	15.6
S	深谷 知広	36	愛知	96	110.63	岸久留	15.6	S	村上 義弘	40	京都	73	106.60	岸久留	15.6
S	佐藤 友和	34	若手	88	110.30	岸久留	15.6	S	深谷 知広	36	愛知	96	105.88	岸久留	15.6
S	武田 豊樹	39	茨城	88	112.38	岸久留	15.6	S	佐藤 友和	34	若手	88	103.96	岸久留	15.6
S	村上 義弘	40	京都	73	109.52	岸久留	15.6	S	武田 豊樹	39	茨城	88	106.60	岸久留	15.6
S	深谷 知広	36	愛知	96	113.47	岸久留	15.6	S	村上 義弘	40	京都	73	112.92	岸久留	15.6
S	佐藤 友和	34	若手	88	113.65	岸久留	15.6	S	深谷 知広	36	愛知	96	112.92	岸久留	15.6
S	武田 豊樹	39	茨城	88	113.65	岸久留	15.6	S	佐藤 友和	34	若手	88	106.60	岸久留	15.6